

ミサワホームの防災教育支援事業の取り組みとして、東京都杉並区高井戸東小学校でジュニア防災検定の団体受検が実施され、試験官は日本女子プロ野球選手が担当しました。



ミサワホームは、社会貢献活動の一環として、一般財団法人防災検定協会が実施しているジュニア防災検定（内閣府、国土交通省、消防庁・気象庁の後援）を活用し、災害から子どもたちの命を守るための防災教育支援事業を日本全国で展開していきます。

第1弾として9月18日、東京都杉並区立高井戸東小学校の4年生を対象に、ジュニア防災検定実施の支援を行い、試験官は日本女子プロ野球選手6名が担当しました。

ミサワホームの願いは、子どもたちに自分の生命（いのち）は自分で守る「自助の精神」を身に付けてもらうことです。ジュニア防災検定は「災害から生命（いのち）を守る学びテスト」であり、ジュニア防災検定を受検した子どもたちが、地域の防災力の担い手になることを期待しています。

今後は、8月の豪雨による土砂災害によって多くの犠牲者を出した広島市をはじめ、全国10数カ所にてジュニア防災検定の実施の支援を予定しています。

